

对应国际日语能力

N2~N1 考试



中级

日语精读

配MP3

下册

せ  
い  
じ  
と  
く

主编 / 王健宜

编著 / 寺田昌代 / 刘肖云 / 朱学松

南开大学出版社

# 中级日语精读（下）

主编 王健宜  
编著 寺田昌代  
刘肖云  
朱学松

南开大学出版社  
天津

**图书在版编目(CIP)数据**

中级日语精读·下 / 王健宜主编. —天津: 南开大学出版社, 2011. 7  
ISBN 978-7-310-03726-1

I. ①中… II. ①王… III. ①日语—阅读教学—高等学校—教材 IV. ①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 123228 号

**版权所有 侵权必究**

南开大学出版社出版发行

出版人: 肖占鹏

地址: 天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码: 300071

营销部电话: (022)23508339 23500755

营销部传真: (022)23508542 邮购部电话: (022)23502200

\* \*

天津泰宇印务有限公司印刷

全国各地新华书店经销

\* \*

2011 年 7 月第 1 版 2011 年 7 月第 1 次印刷

787×1092 毫米 16 开本 13.75 印张 342 千字

定价: 30.00 元

如遇图书印装质量问题, 请与本社营销部联系调换, 电话: (022)23507125

衷心感谢天津翻译专修学院  
对本书编写出版给予的热情鼓励和鼎力支持

## 优秀教材的“有料”与“有趣”

在学习日语的过程中，教材的选择和使用至关重要。除了要符合教学的基本规律、满足使用者的基本要求外，日语教材的高境界主要应体现在以下两个方面：

### 一、优秀教材应该“有料”

“料”是编著者对知识的心得，对学问方法的总结，对学术规律的把握，对思维技巧的整合。“有料”，也就是要有编著者自己的独特见解，尤其是在初级向中、高级递进的过程中，这一点尤其重要。“有料”的教材才会与众不同，才能激发学生的自主思维，也才能真正培养出学生的语言运用能力。

说教式的教材，只是一味机械地灌输知识，给学生一些记问之学，这显然是不够的。那些所谓的理论知识，其实仅仅是表象的东西，正如有些人可以就学校管理侃侃而谈，但真正到现实面前却束手无策、无计可施。具体到日语学习者，不仅要学到知识，更要学会语言应用的能力，通过听、说、读、写、译的综合训练，最终掌握运用日语思维的表达方式。我想这也是新日语能力考试改革的最大初衷。

“有料”的教材对编著者要求很高。首先，它需要编著者对各类日语教材熟悉和理解，并能够总结归纳其优劣，取长补短。这本身就是一个由简至繁，再由繁返简的过程。“料”就是精华，这种纷乱繁华之后的觉醒正是一本优秀教材的“灵魂”。

### 二、优秀的教材还要“有趣”

日本教育家井深大先生曾经说过：“有趣的就是‘好’，讨厌的就是‘坏’”。同样，对于日语学员来说，有趣的教材才能算得上是好教材。教材是实施教学的母本，优秀的教材用不着正襟危坐、事事考据、句句用典；“掉书袋、拼资料”是不能编写出真正的教材的。许多经验看似不规范、不严谨，但只要在教材中呈现的是真正的感悟，能够影响学员，引起他们的学习兴趣，这样的教材就是好教材，也只有这样的教材才能“笑傲课堂”。

学习本身是“苦”的，很容易令人知难而退。一本有趣的教材，可以很好地将学员吸引过来，其教学效果必将事半功倍。一旦学生自己找到了学习本身的乐趣，他就算“上道了”，真正成为了知识的“粉丝”，也就不会再走回头路了。“有趣”才能学好，而学好才是“硬道理”。好的教材就是能把高深的知识、复杂的理论深入浅出地表述明白，并且充分运用生动的素材使学生记忆深刻、理解透彻；使学生在不经意间、甚至在欢笑中学到知识。可见“有趣”真的是对一本日语教材的高要求。

《中级日语精读》的问世，集中体现了一批长期活跃在日语教学第一线的中日两国日语教育工作者的集体智慧，它不是简单枯燥的理论罗列，更不是呆板的“书本日语”，而是多年来包括天津翻译学院的教学科研人员在内的日语教育界广大同仁在辛勤培养日语人才的过程中积累的教学精华的生动再现，其新鲜活泼的“生活日语”在一定程度上体现了“有料”、“有趣”的基本特点。

当然，这样一本既面向日语新考级，又要适应高校日语专业学生的新教材刚刚问世，必然有诸多不足之处，希望大家给予批评指正。

天津翻译专修学院院长  
焦雨石 2010-12-31

# 前言

2007 年，我们用了八年左右的时间数易其稿编写的《高级日语精读》，正式被列入国家“十一五”规划教材，出版发行以来得到许多高校日语专业以及社会各类日语专门教育机构的广泛使用和普遍认可。在此基础上，我们开始组织编写《初级日语精读》和《中级日语精读》，希望这三套书形成一个完整的体系，为日语基础课教学提供一个基本范式和通用教材。

《中级日语精读》分上下两册，是零起点日语专业第二学年的主干课教材。本书按照每学期一册，每册 10 课，每课 10~12 个学时进行设计。用两个学期的时间可以学完教材的 20 课，达到日语能力考试 N1 级水平。

外语教学最重要的是打好基础。在某种程度上，外语能力的基础具有不可逆性，即无法推倒重来，一旦形成将伴随一生。什么是基础？基础主要是正确、标准的语言习惯，循序渐进的学习方法和持之以恒的学习态度。怎样打好基础？打好基础的关键是，使用贴近生活的素材，在充分理解基础上，进行大量的正确模仿。基于上述思想，本书具备以下三大特色：

本书从文章的编排、单词的选取以及呈现方式，到语法句型的条目设计、讲解以及相应的各项练习，都与日本国际交流基金会组织实施的“日语能力考试”的出题标准高度一致。而“出题标准”则是源于生活的产物，很好地反映了日语基础阶段所应该掌握的基本内容。因此，努力接近“出题标准”，是使教材尽可能接近实际、接近生活的有效途径。本书百分之百覆盖了“日语能力考试”的全部范围，是一套针对性极强的专用教材。学习它不仅可以学会地道的活生生的语言，同时还可以收到“学以致用”、“学考结合”的良好效果，为进入高级阶段的学习打下坚实的基础。

文章题材广泛，体裁多样，内容生动有趣。既有评论、解说类的文章，也有成语、故事、童话、随笔等，触及语言生活的方方面面。其中介绍日本社会的多篇文章都是作者为本书专门撰写的，适合中国学生了解日本社会，具有很强的针对性。文章的编排注意了与听说读写译的五大基本功练习相结合。同时，遵循日语学习的基本规律，既考虑了日语学习的特殊需要，又兼顾了一般学习过程中的趣味要求。

本书的练习部分，保持与《初级日语精读》的一贯性。题型设计和问题编排继续贯彻夯实基础、拓展延伸、循序渐进的基本方针，知识点覆盖全面，问题具有较强的实用性，充分体现了分级、分层练习的目标，力图使学生在学习过程中自始至终能够及时迅速地产生强烈的成就感和保持美好的收获意识。

由于我们首先成功地编写了《高级日语精读》，回过头来再由繁至简、自高向低编写基础精读教材，所以能够从高端俯视日语教学活动的全貌，对于日语的基础教学的关键点和要害处更有独到的理解和深刻的认识，能够深入浅出地梳理、解释纷繁的语法现象，巧妙

地安排生动活泼、趣味横生而又实用性强的各种练习，让学习者和教师都能在快乐中完成教学活动。我们认为这些都是编写基础教材能否成功的关键所在。

这套教材的中日双方主要编写人员都是在基础教学和高级教学第一线长期工作的教师，因此本教材也是我们以往教学经验的梳理和总结。编写工作的具体分工是：王健宜负责整体设计和全书统稿；寺田负责文章选取和语法句型条目的选定；朱学松负责语法句型的解说；刘肖云负责练习；李佳负责单词的注释。

本书的录音由南开大学日籍教师寺田昌代和南开大学汉语言文化学院研究生汤下友美、斋藤隆合作完成。插图的作者是日本美术界的朋友吉晶铃兰女士。南开大学出版社的张彤主任为本书编辑出版倾注了巨大的心血。在此一并表示感谢。

由于我们水平有限，本书一定存在缺点错误，欢迎读者批评指正。

主编 王健宜  
2010年12月31日 於南开园

第一課 言葉と時代	1
第二課 鶏並みの牛（他 2 篇）	21
第三課 「済まない」は流れを濁らせたこと	43
第四課 近代化の諸相	58
第五課 国際協力で「宇宙の旅」の実現へ	78
第六課 都会と若者（他 1 篇）	95
第七課 敬語の使い道	110
第八課 日本文化に内在する「中国」	134
第九課 自動販売機と和洋折衷	151
第十課 満員電車と受験戦争	166
付録	184
1. 语法句型索引	184
2. 词汇索引	186
3. 练习参考答案	196

## ★ 文 章

言葉が上滑りしているようにみえる。政界をはじめ、社会のいろいろな場面で、中身のない言葉が飛び交っている。言葉が実体を失う時、文化は、文明は、衰微の道をたどるのではないか。一方、「日本語の乱れ」がいわれて久しい。そこで、日ごろ「言葉」に強い関心をもつ評論家の加藤周一氏と作家の井上ひさし氏に、これらの問題を軸にして「時代」を、「日本」を、語ってもらった。

### ◆◆揺れる日本語◆◆

- 井上** 役所が横文字をいちばん使うようですね。なんとかプロジェクトだの、かんとかリーディングプランだと。日本語の中心をなすのは題目語ですから、題目さえ出せば、あとはどうでもいいようなところがあります。横文字の題目を出されたら、中身をよく検討する必要があります。
- 加藤** 日本人に事態を説明するのによくカタカナ語を使いますね。例えば「シーレーン」なるものは、だれが何を運ぶための道なのかはっきり言わないで、ただ「シーレーン」の防衛という。意図的なすり替えじゃないですか。PKOもそうでしょう。何の省略でどんな意味なのか、分かっている人は意外に少ないと思う。
- 井上** もともと外来語がはんらんしている中に、ああいう言葉が入ってくるから油断ならない。
- 加藤** なぜ外来語がはんらんするんでしょう。いろいろ理屈はあるんでしょうが、いゝものは欧米だというコンプレックスがある。
- 井上** 桃源郷やすばらしいものは常に国の中にあると思っているからじゃないでしょうか。
- 加藤** 日本語で言えることを日本語で言わるのは、母国語に対する愛情が薄いからだと思うな。
- 井上** 人間に対する愛情ともかかわってきます。「国際化」するのがそれほど大事なら、日本に現に来ている外国人労働者とうまく付き合えるかどうかが目の前の問題なのに、そこを飛び越えて突然夢見がちになってしまふ。
- 加藤** 言葉が変わるのは当たり前だし、他国語だって変わっていく。しかし、破壊されているというのは、また別だ。
- 井上** 一つ一つの言葉に、これまでの日本人の思いがさまざまに注ぎ込まれている。それを壊してしまっては、何も再生できません。かつて、すばらしいフランス

語を聴きたければコメディー・フランセーズに行けとか、本当の英語は議会での政治家の演説にあるとか、言われました。日本には、ついにそれがなかった。

加藤 フランスでは、劇評も、解釈や演技に触れる前に、俳優の発音をまず批評します。

井上 言葉の乱れについて言いますと、若い人たちは今のこの世の中を作った大人たちを信用していない。それで混乱させるような言葉を使ってみたりする。ただ、見れる、着れるの「ら抜き言葉」、あれは合理的な変化かもしれません。人間の舌は怠け者ですから発音を簡略化する傾向がある。僕は気持ち悪くて使いませんが、まだ納得できる変化なんです。最近はこれに加えて、食べさせていただきます、見させていただきますという、「さ入り言葉」がはやっていました。すべての動詞にさを入れて、丁寧であることを装うわけです。

加藤 逆に「社会主义」のように消えてゆく言葉もある。高度に抽象的な概念の組み合わせでできているマルクス主義の受け取り方にも、それがはやっていた時から、身近な事実とその概念とを経験的に突き合わせて、自分で検討することはしなかった。だから今、どうにもならなくなっちゃったんだ。

井上 言葉にこびりついている歴史を十分に勉強しなかった報いがきていますね。

加藤 そうですね。私は横流しって言うんです。こんな言葉の入り方を。前の歴史を否定しないと新しい考えは出てこないわけですが、日本では前のことは忘れさえすればいいんだ。自由っていう言葉は明治になって英語から翻訳された。ヨーロッパのリベラリズムからでしょ。が、その内容が当時の日本の現実とどうぞれているかは検討しなかった。そして大正デモクラシーの自由は、この明治の自由とあまり関係がない。戦後また自由が復活して、今度はアメリカ製。みんな横流しです。

井上 たしかに文化、風俗、経済、あらゆる面で、言葉が横流しで日本に入ってきていますね。その言葉と自分たちの日常生活とがどうかみ合うのか、それを考える努力はありません。

加藤 経済学者の内田義彦さんは、ヨーロッパ語では日常語と社会科学の用語とがつながっていると言っていたが、日本語では完全に切れている。例えば、免税の「タックスフリー」と、アメリカ合衆国憲法の「フリーダム」の「フリー」という概念はつながっているが、日本の「免」と「自由」とは全然つながらない。生活とのつながりがないから現実が変わっても学問は変わらない。孟子も「言（ことば）近くして指（いみ）遠き者善言なり」という。

### ◆◆日本語の今後◆◆

加藤 去年の初め、ドイツでの話ですが、一つの本が売れている期間が短くなったと、ある本屋さんがいう。大体二、三年だという。これには驚いた。東京では月単位で変わる。日本は話題の展開が速い。ただ、日本のいろんな現象はほとんど程度問題だと思うんですよ。言葉の貧困化の傾向とか、若い世代が古典を読まないとか、全世界的な傾向でしょうが、日本では誇張される。やはりテクノロジーの影響かな。二十世紀の後半になって、加速度的にテクノロジカルな文化

になり、いろんな意味で人を古典から引き離した。国語は語彙（ごい）が貧困化し、表現力も細くなってしまった。

井上 かつては、飲み物も乗り物の切符も言葉を発して手に入れていた。今はすべて無言。テクノロジーに言葉をしゃべらせる。これではきちんと物を売り買ひすることができません。ファミリーレストランなどではマニュアル言葉しか話されていませんし……。

加藤 テクノロジーは根本的に数学的な思考なんです。今の日本人にとって必要な言語は二つあって、日本語と数学だと思います。

井上 読み書きそろばんですね。

加藤 そうです。知識を獲得する手段を教えればいい。人によって必要とする知識は違うのだから。日本人は日本語で考えるんですから、その日本語の能力が薄いということは考える能力が弱いということです。大問題です。

井上 主語ができるだけ使わずにすます日本語が、主体性抜きの行動をとらせているかもしれませんし、言語が思考や行動を決定するというのはその通りですね。

加藤 日本語があいまいだという人がいますね。それには反対だな。使い方の問題なんです。あいまいな使い方をしても許されるという社会的な通念がある。少なくとも英語と同じ程度には日本語でも正確に表現できる。日本語は表現能力が幅広い言葉ですから。

井上 共同体意識が今、どんどんなくなっています。ただし、辛うじてではあっても言語共同体はあるわけですから、使っている言葉を大事にしながら、レベルの高い共同体意識を持てないか、という幻想が僕にはあります。

加藤 日本人のアイデンティティーの根拠は何かというと、前は天皇や国家があったが、こうなると日本語が大事になってくる。言葉の危機は同時にアイデンティティーの危機もあるわけだ。

井上 日本人を最後に束ねるのが日本語だという実感はあります。もっとも、日本語もある意味では幻想で、結局のところ、一人ひとりの日本語があるだけなのでしょう。となると、日本人一人ひとりが言葉を鍛えていくしかない。日常で言葉とちゃんと付き合える日本人が増えるほど、その総和である日本語も高められていく。そういうことだと思います。

(1993.1.1 朝日新聞 朝刊)

### <和語・外来語単語表>

上滑り（うわすべり）①③ [名・自サ] 在表面滑溜；肤浅，轻率

場面（ばめん）①② [名] 场所；场景

中身（なかみ）② [名] 内容

飛び交う（とびかう）③ [自五] 互相交错乱飞

たどる②③ [他五] 边走边找，探索着走；探索，追寻

乱れ（みだれ）③ [名] 错乱，散乱

久しい（ひさしい）③ [形] （相隔）好久的

ひさし (ひさし) ②	[专]靖
揺れる (ゆれる) ③①	[自一]不稳定, 不安定
横文字 (よこもじ) ①	[名]西洋文字
リーディングプラン (leading plan) ①	[名]主要计划
なす①	[他五]形成, 构成
カタカナ語 (かたかなご) ①	[名]片假名
シーレーン (sea-lane) ③	[名]海上交通线路
はつきり③	[副]明确地
すり替え (すりかえ) ①	[名]偷换
PKO (Peace-Keeping-Operation の略語)	[专]联合国维和活动
はんらん①	[名・自サ]充斥
コンプレックス (complex) ④	[名]情节; 自卑感
現に (げんに) ①	[副]实际上, 现实上, 真实地
目の前 (めのまえ) ③	[组]眼前, 前看就要
飛び越える (とびこえる) ④	[他一]飞跃
夢見 (ゆめみ) ③	[名]做梦
注ぐ (そそぐ) ③①②	[自他五]注入, 倾注
かつて①	[副]曾经, 以前
コメディー・フランセーズ⑧ (Comedie-Francaise) [专]法兰西戏剧院	
俳優 (はいゆう) ①	[名]演员
舌 (した) ②	[名]舌头
怠け者 (なまけもの) ①	[名]懒汉
装う (よそおう) ③	[他五]装饰; 打扮; 假装
組み合わせ (くみあわせ) ①	[名]配套; 组合
マルクス主義 (Marx シュギ) ⑤	[名]马克思主义
突き合わせる (つきあわせる) ⑤	[他一]面对面; 查对
どうにも④①①	[副] (后接否定) 无论如何也, 怎么也
こびりつく④②	[自五]牢牢地粘住, 缠绕上
報い (むくい) ②①③	[名]报复, 报应
横流し (よこながし) ①⑤	[名・他サ] (以黑市价格) 出售 (配给品、管制品等)
リベラリズム (liberalism) ④	[名]自由主义
デモクラシー (democracy) ④②	[名]民主主义
かみ合う (かみあう) ③①	[自五]咬合, 相合
内田 (うちだ) ①	[专]内田
義彦 (よしひこ) ②	[专]义彦
切れる (きれる) ②	[自一]断绝联系, 割断关系
タックスフリー (tax free) ⑥	[名]免税
フリーダム (freedom) ②	[名]自由
フリー (free) ②	[名・形动]自由; 免费

言（ことば）近くして指（いみ）遠き者善言なり（ことばちかくしていみとおきものよきこと/ぜんげ んなり）〔惯〕言近而指远者，善言也	
いろんな①	[连体]各种各样，形形色色。
やはり②	[副]果然，与预料的一样
テクノロジー（technology）③	[名]科技
テクノロジカル（technological）③	[名]技术的，工艺的；因工业技术发展而引起的
引き離す（ひきはなす）④	[他五]拉开
語彙（ごい）①	[名]词汇
発する（はっする）①③	[自他サ]发生，产生
手に入れる（てにいれる）	[组]到手，据为己有
売り買い（うりかい）②	[名·他サ]买和卖
読み書き（よみかき）②①	[名·自他サ]读书写字
そろばん①	[名]算盘
すます②	[他五]完成，办完
少なくとも（すくなくとも）③②	[副]最起码，至少
幅広い（はばひろい）④	[形]广泛的
どんどん①	[副]连续不断貌
辛うじて（かろうじて）②④⑤	[副]总算是，好容易才
レベル（level）①	[名]水平
アイデンティティー（identity）③	[名]同一性
束ねる（たばねる）③	[他一]打捆；掌管，统辖
一人ひとり（ひとりひとり）⑤	[副]每人，人人；逐个地
高める（たかめる）③	[他一]提高，兴盛

### ＜漢語单語表＞

政界（せいかい）①	[名]政界
実体（じつたい）①	[名]实体
文明（ぶんめい）①	[名]文明
衰微（すいび）①①	[名·自サ]衰微，衰退
周一（しゅういち）①	[专]周一
軸（じく）②	[名]中枢，事物的中心
題目（だいもく）①	[名]标题
事態（じたい）①	[名]事态，情势
防衛（ぼうえい）①	[名·他サ]防卫
省略（しょうりやく）①	[名·他サ]省略
外来語（がいらいご）①	[名]外来语
理屈（りくつ）①	[名]道理，理由；歪理，诡辩
桃源郷（とうげんきょう）①	[名]桃花源
母国語（ぼくご）①	[名]母语
愛情（あいじょう）①	[名]爱，爱情

再生 (さいせい) ①	[名・自他サ]复活, 新生
議会 (ぎかい) ①	[名]议会
劇評 (げきひょう) ①	[名]剧评
解釈 (かいしゃく) ①	[名・他サ]解释
演技 (えんぎ) ①	[名・自サ]演技
批評 (ひひょう) ①	[名・他サ]批评, 评论
信用 (しんよう) ①	[名・他サ]确信, 相信; 信用, 信誉
合理 (ごうり) ①	[形动]合理的, 能以理论解释清楚的
簡略 (かんりやく) ①	[名・形动]简略
傾向 (けいこう) ①	[名]倾向, 发展趋势
動詞 (どうし) ①	[名]动词
主義 (しゅぎ) ①	[名]主义
抽象的 (ちゅうしょうてき) ①	[形动]抽象的
概念 (がいねん) ①	[名]概念
戦後 (せんご) ①②	[名]战后
風俗 (ふうぞく) ①	[名]风俗、习惯
用語 (ようご) ①	[名]用词, 措词
免税 (めんぜい) ①	[名・自他サ]免税
合衆国 (がっしゅうこく) ③	[名]合众国
憲法 (けんぽう) ①	[名]宪法
孟子 (もうし) ①	[名]孟子
展開 (てんかい) ①	[名・自他サ]展开
古典 (こてん) ①	[名]古典
全世界 (ぜんせかい) ③①	[名]全世界
誇張 (こちょう) ①	[名・他サ]夸张
加速度 (かそくど) ②	[名]加速, 加速度
国語 (こくご) ①	[名]国语
表現 (ひょうげん) ③①	[名・他サ]表现, 表达
無言 (むごん) ①	[名]沉默
根本的 (こんぽんてき) ①	[形动]根本的
思考 (しこう) ①	[名・自他サ]思考
獲得 (かくとく) ①	[名・他サ]获得
主語 (しゅご) ①	[名]主语
主体性 (しゅたいせい) ①	[名]主体性
決定 (けってい) ①	[名・自他サ]决定
通念 (つうねん) ①	[名]一般的想法
幻想 (げんそう) ①	[名・他サ]幻想, 幻觉
危機 (きき) ①②	[名]危机
総和 (そうわ) ①	[名・他サ]总和, 总计

## 【文法事項】

1. にかかわる

【接続法】{名词} + ~

【意思用法】表示关系到比较重大的事项，前项常见的词语有“生死、命、成否、合否、信赖”等，相当于“…に關係がある”。“关系到”，“关乎”。

【例句】生死にかかわる難しい手術だ。

【经典真题再现与点拨】

(JLPT 2001 年IVの 1) 会社の評判\_\_\_\_\_から、製品の品質管理は厳しくしなければならない。

(正解：4)

- 1 をかぎる      2 にいたる      3 をめぐる      4 にかかわる

译文：对产品品质必须实行严格管理，因为这关系到公司的声誉。

(JLPT 2005 年Vの 47) 首相が誰になるかは、日本の将来\_\_\_\_\_ことだ。

(正解：2)

- 1 に基づく      2 にかかわる      3 にかたくない      4 に相違ない

译文：首相的人选关乎日本的未来。

(JLPT 2006 年Vの 54) 野菜の輸入規制の緩和は農業政策の根本に\_\_\_\_\_。

(正解：2)

- 1 たえない      2 かかわる      3 かぎる      4 かなわない

译文：放宽对蔬菜的进口管制关系到农业政策的根本。

2. わけだ 「結末」

【接続法】{用言连体形 / 名词+な／である} + ~

【意思用法】表示结论或解释。“当然是……”，“自然是……”；“也就是说……”。

【例句】旅に出るとき 10 万円持っていた。今 1 万円しかない。つまり、9 万円も使ってしまったわけだ。

「この間の芝居が入賞したんだけど…。」「君の作品が認められたわけだね。」

「結末」関連 1 ぬく

【接続法】{动词第一连用形} + ~

【意思用法】表示经过努力将前项动作做彻底；表示前项动作程度达到极限。“……完”，“十分……”。

【例句】いろいろな困難に負けず、最後までやりぬいた。

子供に先立たれたことを悲しみぬいた。

【经典真题再现与点拨】

(JLPT 2005 年IVの 44) あの人もずいぶん\_\_\_\_\_、会社をやめることを決めたんでしょう。

(正解：2)

- 1 悪みかけて      2 悪みぬいて      3 悪みだして      4 悪みかねて

**译文：**他一定是经历了内心的极度纠结之后才做出辞职的决定的。

「結末」関連 2 つけ

**【接续法】**{终止形} + ~

**【意思用法】**就记得不太清楚的事情向对方进行确认。“……来着？”

**【例句】**内木ユリヤ先生の講義は 5 番教室だっけ。

今度の修学旅行には、札幌市内散策も日程に入っていましたっけ。

3. …さえ…ば

**【接续法】**{动词第二连用形+て / 名词} + さえ + {动词假定形} + ば

**【意思用法】**用于表示唯一必要条件。“只要……就……。”

**【例句】**黙って座ってさえいればいいといううまい仕事はないのか。

**【经典真题再现与点拨】**

(JLPT 1999 年 IV の 16) 電話番号 \_\_\_\_\_ わかればいいので、住宅は書かなくてもいいですよ。

(正解：4)

1 すら 2 ばかり 3 かぎり 4 さえ

**译文：**只要知道电话号码就行，所以不用写住址。

(JLPT 2004 年 IV の 32) 最近、自分 \_\_\_\_\_ いいという考え方の人が増えている。

(正解：2)

1 こそよければ 2 さえよければ  
3 さえよくなければ 4 こそよくなければ

**译文：**最近，以自我为中心的人越来越多。

4. 一方

**【接续法】**{连体形} + ~

**【其他形式】**一方で、一方では

**【意思用法】**表示一个事物的两个方面。“一方面……，另一方面……”，“……的另一方面，……”。

**【例句】**学生を厳しく叱る一方で、やさしく接することも忘れてはいけない。

独身で一人暮らしは多少の寂しさを感じる一方、悩みも少ない。

5. ように 「目的」

**【接续法】**{动词原形・否定形式} + ~

**【意思用法】**表示目的。“为了……”，“以便……”，“达到……的效果”。

**【例句】**病気が早く治るように点滴してもらいました。

**【经典真题再现与点拨】**

(JLPT 1997 年 IV の 18) 看板は遠くからでも見える \_\_\_\_\_ 大きく書きます。

(正解：2)

1 ためで 2 ように 3 ような 4 ために

译文：看板上的字写得很大，这样从远处也能看得见。

- 1 ように      2 ために      3 だけに      4 ことに

【近义区分】“ように”与“ために”的区别在于前后动作主体的关系与前项动作的意志性。

“のように”：前后动作主体不同；前项为非意志性动词。

“ために”：前后动作主体相同；前项为意志性动词。

“看板は遠くからでも見える\_\_\_\_\_大きく書きます。”中前项动作“見える” 的主体是“看的人”，而后项的主体为“写的人”；前项动词“見える” 表示可能，不是意志动词。因此应该选择“ように”。

「目的」関連 1 んがため／んがために／んがための

【接续法】{动词未然形（“する”变为“せ”）} + ~

【意思用法】前项为后项动作的目的，属于文语表达方式，相当于现代日语的“するために”。“为了……”。

【例 句】厚生省に薬害を認めさせんがために、ハンガーストライキに突入した。

【经典真题再现与点拨】

(JLPT 2000 年IVの 7) 真実を明らかに\_\_\_\_\_、あらゆる手を尽くす。

(正解：3)

- 1 するまじく      2 すべからず      3 せんがため      4 せざるべく

译文：为了弄清真相，（我们）将使出浑身解数。

(JLPT 2003 年IVの 42) 国会で法案を\_\_\_\_、首相は根回し工作を開始した。

(正解：3)

- 1 通せばこそ      2 通るまいと      3 通さんがため      4 通ろうとして

译文：为使法案能在国会中通过，首相已经开始进行疏通工作。

(JTEST74 回の 100) 愛する我が子を（ ）がために、彼は自ら犠牲になった。

(正解：3)

- 1 守る      2 守ろう      3 守らん      4 守れる

译文：为了让深爱的孩子不受伤害，他牺牲了自己。

## 6. にして 「強調」

【接续法】{名词} + ~

【意思用法】表示达到前项这一程度或阶段时才出现（仍出现）后项的情况。常用“…にしてはじめて”、“…にしてようやく”的形式。“因为达到……的程度才可能”；“连达到……的程度都不可能……”。

【例 句】この改革はその政治家にして（はじめて）できたことだ。

先生にして間違えるのだから、できないのは当然である。

【经典真题再现与点拨】

(JLPT 1998 年IVの 18) 彼は 40 歳に\_\_\_\_\_ようやく自分の生きるべき道を見つけた。

(正解：3)

- 1 より      2 あり      3 して      4 とり

译文：他到了 40 岁才找到自己的人生轨迹。